

令和7年2月6日

豊後大野市議会

議長 田 嶋 栄 一 様

総務常任委員会

委員長 佐藤 昭生

総務常任委員会所管事務調査 結果報告書

2024 市民と議会の意見交換会における市民からの市に対する意見・質疑について、内容を調査するため、令和7年1月24日に総務常任委員会所管事務調査を実施しました。委員会で検討した結果、下記のとおり調査結果がまとまりましたので報告します。

記

1 朝倉文夫記念公園内の重機のあり方について

(意見) 2年前の意見交換会で、朝倉文夫記念公園に野ざらしで置かれている重機のことについて質問したが、未だにそのままになっている。重機のレバーなどは朽ちており、第17回大分アジア彫刻展の会場にふさわしいとはいえない状況である。市として何らかの対応をしてほしい。

【総務常任委員会の調査結果】

対象になっている重機は昭和37年に朝倉文夫先生自身が公園の設計、計画をする中で、地元へ寄贈されたとされているもので、公園を造成する際に使用したと伝えられていますが、その後、かなりの期間放置されたようです。

朝倉文夫先生の意思を引き継ぎ、またその功績を継承するため、平成3年3月、「愛の園生 朝倉文夫記念公園」が開園し、重機をどの程度修理を施したか分かりませんが、公園計画のシンボルとして平成2年に設置されています。

設置から34年、造成からだて62年の年月が過ぎ、重機の塗装が剥がれたり、部品が取れたり、傷みがひどく、立入禁止のロープで囲いを設置しています。

重機のあり方について方向性を求めるため、「愛の園生 朝倉文夫記念公園」運営委員会でも意見をいただくなどした結果、今後は別の場所への移設を検討しているとのこと。